

ブルマン、キリマンにも比肩

# スリランカコーヒー 高品質に復活

## 熊本市のNPO法人指導

### 現地支援兼ね輸入販売

熊本市のNPO法人「日本フェアトレード委員会」（清田和之代表）が、スリランカ産コーヒー「スリパーダ」の輸入、販売を始めた。同国で栽培が途絶えたコーヒーを復活させ、生産技術の指導を重ねて商品化した。途上国の物品を適正な価格で取引するフェアトレードの取り組みだ。

清田代表が同国の農民との交流を通じ、一八六〇年代まで年間五万トンのコーヒー生産国だったことを知ったのがきっかけ。病害の発生が原因で生産されなくなったという。清田代表からは、二〇〇四年にインド洋大津波で同国が被害を受けたことから、「募金など一時的ではない、経済的自立を促す支援が必要」と痛感。コーヒー生産を復活させようとして立ち上がった。

〇七年からは、国際協力機構（JICA）の草の根協力支援事業に迎えスタートを祝った。大使の女優アネスタ・バーネットさん、農業輸出局長らを熊本市に迎え、フェアトレード



スリランカのフェアトレード大使、アネスタさんを囲み、コーヒー「スリパーダ」を味わう日本フェアトレード委員会のメンバー



熊本市のNPO法人日本フェアトレード委員会が輸入、販売を始めたスリランカ産フェアトレードコーヒー「スリパーダ」

「スリパーダ」は二百五十万円。売り上げの割合はコーヒー生産者組合に寄付され、工場の設備投資や働く母親のための保育園設置などに使われる。同法人 ☎096(245)4545。（峰松清子）

## 里恩師困む

民学校 熊本市で同窓会

一九九〇年に入学した。熊本市に一人を同窓会を開く。同窓会を開く。同窓会を開く。